

北郷（上）地区座談会 議事要旨

○と き:平成 22 年 7 月 4 日(日)19:00～21:20

○と ころ:北郷公民館

○テ ー マ:第5次勝山市総合計画

○出 席 者:26名

◎第5次勝山市総合計画について説明(未来創造課)

◎都市計画マスタープランについて説明(都市政策課)

Q1	<p>・勝山市には、集客力がある観光資源があるが、恐竜博物館に来てでも市内にお金を落とさずまっすぐ帰ってしまうのではないかと福井北インターから恐竜博物館までの間に、食事場所やお土産を買うところなどが無い。お金を落とす施設をつくることで市民の働く場も出来るし、市も経済的に潤うのではないかと。</p>
A1	<p>・観光関係については、昨年度の地区別座談会でもいろいろな指摘があった。代表的な意見として、観光資源を線から面につなげる整備が必要である、昼食場所がないので、そういった政策が必要である、まちなかだけでなく郊外への誘客も考えてほしいという意見を聞いている。その辺のことを皆さんと考え総合計画の中でも道筋をつけていきたい。</p>
Q2	<p>・小学校の統合によって空いた校舎を大学スポーツの宿泊施設として、学生に来てもらうのはどうか。北郷小学校のグラウンドは、400mトラックがあり水はけもよい。ナイター設備をすることで学生に来てもらえる施設として活用できると思う。</p>
A2	<p>・勝山市では、今年度から、県外からの高校生以上の合宿について宿泊の千円分を補助する制度をはじめた。また、北郷では、国の重要文化財に指定された旧木下家住宅などすばらしい資源がある。もちろん学校再編をどうするか議論が先であるが、将来的には、そうした方向で北郷小学校の校舎やグラウンドの活用について地区の皆さんと話し合っていく場面も出てくるかも知れない。</p>
Q3	<p>・観光に関して、7月 24、25 日に東京の南青山 291 において勝山フェアが開催されると聞いているが、どういった視点で実施、アピールするのか。</p>
A3	<p>・関西、中京では共有博物館の名前がかなり浸透している。ただ、関東についてはこれからということである。関東の方に、勝山市に恐竜博物館やスキージャム、ゆめおーれ勝山、平泉寺などの観光施設があることをアピールしていきたい。</p>
Q4	<p>・先日の市長となんでも語ろう会において、中学校の統合については1年以内に目処を付けていくと言っていたのに、今回の座談会では触れていないのはなぜか。また、1年以内にどのように統廃合の可否を取るのか。</p>
A4	<p>・市長となんでも語ろう会では、質問に答える形でそういう発言をした。南部中学校の地で新体育館建設を考えていることについては4つの理由がある。その中の4番目の理由として、平成30年の国体誘致がある。そのためには平成29年春に新体育館を開設したい、そのためには平成27年に中学校の再編をしたいということである。そのように一体的に考える中で、今後1年の間に、市の考えをトータルとして実現できるかどうかの判断をするということである。</p>
Q5	<p>・北郷小学校では、3代にわたって学校長、教頭と一緒に異動になっている。学校の</p>

	<p>伝統を継承していく、もしくは地域の関わりを継承していく上では問題があると思う。</p>
A5	<p>・校長等限られたポストの人事については、場合によっては、短い年数で異動せざるをえないケースもあり得ると考える。しかしながら、学校経営の責任者であるから、地域に溶け込み、地域の皆さんと一体的に学校運営をしていくためには、なるべく長い期間、同じ学校に勤めることが望ましい。そういった意味で、できるだけその方向で進めていきたい。いずれにしても、校長、教頭の人事は現場第一で考えるべきと思う。</p>
Q6	<p>・説明を聞いていると、「今の勝山の現状はこうだから、仕方がないからこのようにしませんか」というふうにはしか聞こえない。</p> <p>北郷から福井までは約20分なので、気軽に買い物などに行ける。しかし、福井から見ると勝山は距離感がある。福井の人の距離感をもっと縮められないか。北郷は、ベッドタウンとしての可能性があると思う。また、恐竜博物館と福井の間に何かがあることにより、訪れる人が複合的に楽しいところというイメージを持つ。このように北郷はメリットのあるところだと思っている。</p>
A6	<p>・指摘があったことはその通りであり、今後市政運営の上で考慮していきたい。昨年の地区別座談会での意見の中でも、企業誘致から方向転換してベッドタウン化してはどうかといった意見とか、逆に若者が戻ってくる事が出来るように企業誘致にもっと力を入れていくべきだとか、一見相反するような意見もあった。北郷地区のように、福井、永平寺に近いところについては、勝山市全体とは違う地域振興を目指す考え方もあろうかと思うので、その点について北郷地区の方の声をもっと聞いてみたい。ただし、「仕方がないからこのようにしませんか」ではダメという気持ちはわかるが、日本全体の人口が減少に転じた中で、第5次総合計画の中では、ある程度の人口減を見越したうえで、どのような形で地域コミュニティを守って住民の生活を向上していくかということの道筋・問題提起が必要であると考えます。</p>
Q7	<p>・部活動の選択肢が広がれば、帰る時間がまちまちとなる。また、学校と自宅との距離が一段と遠くなって、さらにさまざまな帰宅時間となる。また、土日の部活動はどうするのか。そこまで考えて送迎のサービスが出来るのか。後になってから、ここまでは出来て、ここからは出来ないと言われると、親の立場としては問題である。</p>
A7	<p>・中学校を1つに統合することで、部活動の終了時間、土日の活動時間を集約する中で、当然土日を含めたスクールバスを想定している。一番の不安要因となっている再編に伴う通学手段の確保については、部活動も含めた上での考え方である。</p>
Q8	<p>・長尾山に総合公園ができれば、まちなかに体育施設をつくるのが2重投資になるのではないかと。人口減少で財政が厳しい中で、きらりと光る都市づくりは単なる言葉だけになるのではないかと。</p>
A8	<p>・長尾山の第2期事業部分(55ha)については、里山の自然、森林の生態系が評価されており、そのまま活かした形で森林環境を体験して頂けるような提案をしている。当初計画にあった運動施設は計画から外しているので、市街地に建設する体育館は、2重投資にはならない。第2期事業整備後は、維持管理も環境負荷の少ない持続可能な形になる。</p> <p>・都市づくりについては、まち全体としては持続可能な都市構造と活力あるまちづくりとして市街地の拡大の抑制、これまでの既存市街地の活性化を図っていきたい。既存の社会資本(道路、公園、建物公共施設)をリニューアルしながら活かしていくという方</p>

	向性である。
Q9	・小学校は敬老会、文化祭など子どもたちと高齢者が仲良く交流している。子どもたちが地域からいなくなるとますます地域が寂れてくる。均衡ある勝山市の発展が望めなくなるのではないか。現在の公民館活動が既に寂びれている中で、小学校の遊休施設が果たしてコミュニティの中心になり得るのか疑問。
A9	・学校が再編された後でも、放課後や土曜日、長期休暇期間に地域の子もたちが集まる場所は、地域の中に残していきたい。一方で、そのために望ましい教育環境を目指した再編ができない、保護者が選択できないということにならないように、両立を図っていきたい。教育環境を実現しつつ、地域で子どもたちの声が聞こえるということで今回素案をお示した。 ・公民館活動の意義がだんだん変化してきている。新しいコミュニティセンターの中では、社会教育、社会体育などをやるとともに、地域ごとに話し合いながら、住民の新しいニーズにあったさまざまな活動を包括していき、コミュニティセンターの機能として加えていきたい。
Q10	・簡単に企業誘致ができない状況下において、基幹産業である農業振興が大切になると思うが、農業振興についてどのように考えているのか。
A10	・農林行政については、市でも後継者の育成、集約化について、また耕作放棄地対策等についても積極的に進め、さまざまな施策を行っているが、まだまだ不十分と言わざるを得ない。関係団体の意見を聞いて総合計画の実施計画案の中に入れていきたい。 ・産業の傾向としては、第3次産業が多くなっている。今年度からは商店の新規開業補助やものづくりへの補助をはじめた。広範囲に支援していく必要があると思っている。
Q11	・今後、勝山市の人口が減少することにより合併問題が出てこないのか。その辺はどのように考えて計画を立てているのか。
A11	・市町村合併については、平成12年ごろから、国の施策として市町村に選択を迫り、平成の大合併となった。しかし、現在は国の特例法については終わっている。今回の総合計画策定の中では市町村合併は意識せずに、勝山市が単独でしっかりとやっていけるような計画をつくっていきたい。
Q12	・エコミュージアムは、まちづくり委員会が中心となって進めている。ホテルの里が終了し、次の方向性を考えたときに、北郷地区の旧木下家住宅が国の重要文化財に指定されたので、その方向でエコミュージアムを進めていきたいと考えている。しかし、市の考えと地元の計画がうまく整合していない。地元としては畑ヶ塚の辺りから観光のメインとしたい。
A12	・旧木下家住宅については、先日、国の重要文化財として登録になった。多くの人に来て頂き、周辺も見られるような核になる施設にしていきたい。地域活性化の観光資源としても育てていきたい。そのための委員会もつくっており、その中で地元からも議論やアイデアを頂き、市の取り組みと整合した形で進めていければと思っている。 ・エコミュージアム協議会では、来年度以降の新たなエコミュージアムの展開

	<p>について、いろいろと検討中である。エコミュージアムで進めるのなら、北郷地区についても、行政に要望するだけでなく、協議会の議論にも積極的に参加して意見、アイデアを出してほしい。</p>
Q13	<p>・ここに参加された方は、何を決めればよいのか。小学校の統廃合について何を考えればよいのか。今後、小学校、中学校、保育園保護者へどう説明をしていくのか。今後の方向性について聞きたい。また、総合計画全般については、今回の説明で終わるのか。今後、北郷町の特殊性を活かした地域振興策をとっていただけるものと思っているが。</p>
A13	<p>・今日を皮切りに各地区を回り始めたところであり、今回は基本的な考え方を示した。基本構想、基本計画の策定については3月までに具体的にまとめる必要がある。ある程度まとまった段階で、どのような形で市民の皆さんに説明させていただくか検討したい。さらに、学校再編については、小学校、中学校の単位でそれぞれ話しを深めていく機会を設ける。</p> <p>・小中学校の再編について、基本は次代を担う子どもたちにより良い教育環境を提供していきたいという考えである。一定規模以上の学校で、より多くの子どもたちがいる環境をもって切磋琢磨する、刺激しあう部分を含めて子どもたちの可能性を伸ばしていく環境が大事であると思っている。特に小学校については、地域に密着した学校だから地域としっかり話し合い、時間をかけて進めていく。中学校については、通学距離が遠くなるのが懸念材料だが、これについてはしっかりとカバーをさせて頂く。8月以降に校区単位での意見交換会を開催していく。その際には、現在の小中学校の保護者のほかに、将来の児童生徒である保育園、幼稚園、就学前児童の保護者なども含めて話し合いを進めていきたい。</p>

以上